

特定非営利活動法人きれいな山をありがとう設立趣意書

登山は健康スポーツとして、また自然体験観光としても定着し、年齢を問わず広く日本におけるメジャーな余暇の過ごし方となっています。私たち登山愛好者は、日本の豊かな自然に触れる体験を重ねることで、心と身体の安寧を感じ、自然の中の一つの命の尊さを学び、大きな恩恵を受けて来ました。しかしながら、日本の自然の大きな資源でもある山岳地帯における自然環境の保全や、山岳地域の重要なインフラである山小屋の負担の増加などにおいては、多くの不安材料が存在しています。

近年は、アクセスの向上、装備の軽量化、ツアーの増加、などの要因から、過去には無かった新たな問題（特定の山岳地域への登山者の集中によるオーバーユース、実力を伴わない山域への入山による遭難等）も危惧されるようになってきました。登山道の整備は、頻発する大雨災害の都度、山小屋や地元山岳会などの負担となり、その山小屋への物資輸送も運行が縮小化する民間ヘリに頼らざるを得ない現状で、いかに効率的に実施していくかが課題となります。

また 山岳地域での環境保全としては ゴミの持ち帰りなど、マナーの問題は一定程度の成果も見られてはいますが、環境型トイレの設置などは各地方公共団体を含めた国内の経済状況にも左右され、持続可能な安定した環境保全には至っていません。

私たちは、「日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト (HAT-J)」で長きに亘って山岳環境保護に寄与すべく活動して来ました。ゴミ持帰り運動、青少年の自然環境体験、山岳国際交流、ネパール山岳地帯の支援、山のトイレ問題、東日本大震災の被災者支援（自然体験）等に取り組んだ今までの経験を生かし、その理念を継続する道を探り、今般本新組織を立ち上げることを決意しました。

地球規模での気候変動の中で、自然への感謝の気持ちを持ち、登山という健康活動を維持して行くこと。具体的には、啓蒙活動としての青少年の自然環境体験教室や携帯トイレの携帯推奨活動、清掃登山、自然観察会などの実践を展開します。本団体は、関係団体による「山岳団体自然環境連絡会」（日本山岳会自然保護委員会／日本山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員会／日本勤労者山岳連盟自然保護委員会／東京都山岳連盟自然保護委員会／日本山岳ガイド協会／山はみんなの宝クラブ）とも連携し、山岳環境保全問題解決に取り組んで行きます。

これらの活動は、現在、広く呼びかけられている S(持続可能な)・D(開発：インフラの整備)・Gs(目標)にも合致するものであり、高い倫理性を持って日本の山の豊かさを守る仲間を広く求めます。私共は、登山者がどのように持続可能な環境保全に寄与していけるかを、登山者の立場から考え、自然環境の保護意識を広げて行くことを活動の目的とし、これらの活動は「不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与する」とものと考え 特定非営利活動法人として活動します。

申請に至るまでの経過

2021年6月28日 特定非営利活動法人日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト (HAT-J) の9月30日解散が正式決定したことを受け有志が集まり新法人の設立の検討を開始

2021年8月11日 発起人会を開催し、必要書類等の検討を行い、特定非営利活動法きれいな山をありがとうの設立を有志で確認

2021年8月28日 特定非営利活動法きれいな山をありがとうの設立総会開催

2021年8月28日